

都道府県	高知県
------	-----

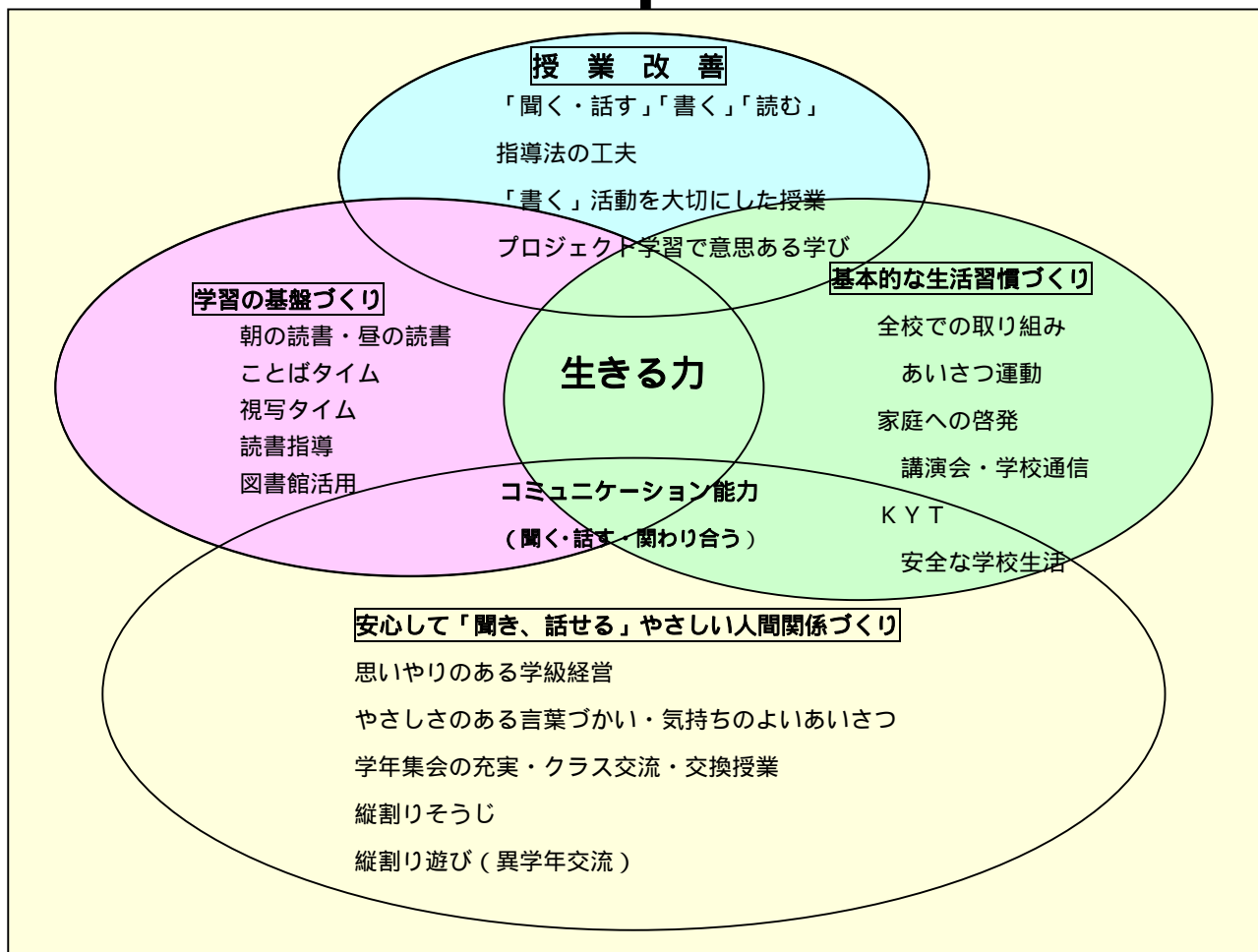
学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	高知市立大津小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	3	3	3	3	3	2	21	33
児童数	110	97	117	115	110	114	3	666	

研究の概要

1. 研究主題

研究主題
自分が好き・友だちが好き・大津が好き
 ~教科と総合を両輪として育てる基礎基本の力「聞く・話す・書く・読む」~



2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

ティーム・ティーチングと少人数授業・少人数クラスの実施

少人数授業

- a 1 学年・少人数クラス 2 (学級担任 2 名)
1 年 2 組 (36 人学級) を 18 人ずつの 2 クラスに分け、それぞれ学級担任 1 名が全教科・領域の授業を行う
- b 4 学年 (3 クラス) の算数科における少人数授業
18 人程度の少人数で算数科の授業を行う

多様なティーム・ティーチング

- a 1 学年・2 クラスのティーム・ティーチング (T1・T2)
37 名 2 クラスで全教科・領域の授業をすべてティーム・ティーチングで行う
- b 3 年～6 年の国語科授業のティーム・ティーチング
 - ・ 書写・・・T1 (指導工夫改善担当)・T2 (学級担任)
 - ・ 図書館教育・・・T1 (指導工夫改善担当)・T2 (学級担任)
 - ・ 国語 (5 年・6 年)・・・T1 (学級担任)・T2 (指導工夫改善)
- c 3 学年の算数科のティーム・ティーチング・・・T1 (学級担任)・T2 (指導工夫改善)
- d 3～6 年の情報教育 (総合)・・・T1 (指導工夫改善担当)・T2 (学級担任)

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度の計画

テーマ

「自分が好き・友達が好き・大津が好き」

研究の見通し

仮説 1 「問題解決能力」

地域のいろいろな人々と共に地域の様々な内容を「総合的な学習」において学習していけば、子どもたちは生まれ育った地域の福祉・環境・文化・歴史などに興味を持つことができ、子どもたちは自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら問題を解決する態度が身につく、自分たちの地域に愛情と誇りを持つことができるであろう。

仮説 2 「話す力・聞く力」

学習過程の中に相手の話を確かに聞き、自分の考えを自分の言葉でいきいきと自己表現できるような場を構成すれば、コミュニケーション能力が高まり、状況を考え、自分も相手も大切にしたい行動をすることができ、認め合い、支え合う仲間づくりができるであろう。

仮説 3 「書く力」

「書く」ことにおいて、相手・目的・場面を意識した学習の場を構成し、全校で継続して取り組めば、読み手を意識して書く力を育むことができるであろう。

仮説 4 「読む力」

学校図書館の充実・読書の習慣化 (朝の読書タイム・昼の読書タイム・読み聞かせなど) を推進していけば、子どもたちは、美しいものすばらしいものに感動する心、相手の良さを認めることができる心、生命を尊重する心が育ち、人への思いやりの心を育むことができるであろう。

「総合的な学習」を支える力は、主に国語の授業において育成されたと考え、また「総合的な学習」を進める中で、読む力・話す力・書く力・まとめる力が習得されたと考えた。子どもたちの意志ある学び・社会において必要とされるテーマの「総合的な学習」に取り組むことにより、全ての教科が必要になり、総合と教科を両輪として学習することによって、生きてはたらくことば・真の学力がつくと考えて進めている。

研究の内容・方法

- ・ 基礎的な表現力を育てる日常指導
- ・ 全校一斉の朝の読書・昼の読書
朝の10分間（月・火・木）と昼の10分間（月・火・木・金）に、全校で読書を行っている。この時間に高学年が低学年に読み聞かせをしたり、保護者が読み聞かせに来てくださったたりしている。
- ・ ことばタイム
水曜日の朝8：35～50は、全校放送（管理職・学級担任以外が担当）で詩を中心に全校で声を合わせて音読する。学期に1度は全校で発表する場を設定している。
- ・ 視写タイム
金曜日の朝10分間は、目標の字数を立てて書いている。定期的に10分間で書ける字数を計る。
- ・ 授業研究・改善
 - a 授業公開は、全学年が「国語科」で行い、「書く」ことを中心に研究する。
 - b 授業は、聴型を取り入れて、「聞く」「話す」の学習訓練方法を研究していく。

16年度の計画

平成15年度の研究テーマ・仮説・方法内容等を継承し、より深めていきたい。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

基礎学力を支える学校図書館の充実

図書館が学校の中心となり、基礎学力を支える学習メディアセンターとして機能するよう改造した。

- (1) 書架の配置換え・子どもの目線の書架等の工夫
- (2) 選書会の実施、子どもたちの選書
- (3) 木の香りのする机・いす・木で癒しの場所
- (4) 図書館へのLAN接続・ノートパソコン5台設置
- (5) 図書館ネットワーク（データベース化）
- (6) 「大津情報図書室」での本紹介コンテンツ
- (7) テレビ・DVD・ビデオの設置

授業研究（1学期・5年生）

国語科「動物の体」において、2～3種類の動物になりきって対談（話す）を行い、話した内容を受けて（聴く）インタビューを受けるという形式で授業を行った。インタビューでは聴型を取り入れて行った。聴く方は評価カードを持って、評価をメモしながら聴くことができている。

授業後は佐賀大学の白石寿文先生をお招きして、ワークショップ形式で研究を行った。

夏季研修

川内小学校の瀬戸先生を講師に、「聞く・話す」を中心に講演をしていただき、聴型を取り入れた実践例等もお聞きし、2学期からの計画を学年で立てた。

読書感想文

3年生以上は読書感想文に全員取り組み、1・2年生は読書郵便に取り組んだ。高学年(4・5・6年生)には高学年の課題図書であった「ハンナのかばん」を全クラスで読み聞かせした。「ハンナのかばん」の作者の石岡史子さんに来校していただき「かばん」を実際に見て、ふれることによって、実際にハンナは生きていたんだという事を強く感じ、感想文も積極的に書けていた子どもが多かった。4年～6年全員が読書感想文のコンクールに応募し、本年度の優良校として表彰されることになった。

授業研究(2学期・2年生)

「ピーパーの大工事」の発展として、動物の説明と動物クイズを各班で発表した。学校図書館の本と市民図書館から団体貸し出し(50冊)していただいた本で調べ学習を行い、クイズを作成し、台本を作り、暗記してプレゼンテーションを行った。振り返りカードを書くことが定着してきている。

ことばタイム発表会・総合のプレゼンテーション

月2～3回行っている「ことばタイム」の発表会を全校で行い、少しずつではあるが声の出し方が力強くなっている。総合のプレゼンも場を設け、意識付けして取り組ませると成長が大きい。

読み聞かせ・ストーリーテリング

毎週定期的に、保護者の読み聞かせを聴き、図書の時間にもストーリーテリング(高知お話の会)を聴くなど、意識的に聴くことを入れてきて、聴くことが好きな子どもたちが多くなっている。

2. 今後の課題

(1) 成果の検証方法

少人数授業・多様なチーム・ティーチングの学習成果を確認する評価法の研究を進めていきたい。

1学年の検証方法の研究

- ・ 18人の少人数学級2クラスと37人(T・T)の2クラスの学力調査方法の検討
- ・ 保護者へのアンケート調査の質問項目や回答方法の検討

4学年の少人数授業の学習成果を確認する検証方法の研究

3学年の算数科のチーム・ティーチングの学習成果を確認する検証方法の研究

「総合的な学習」の中で国語科の「聞く・話す・書く・読む」の力がどのように伸びたかの研究

- ・ 活動をポートフォリオに残していき、学習の成果は元ポートフォリオを凝縮する
- ・ 学習後はポートフォリオ評価を行う(通知表にいかす)

書写・図書館教育のチーム・ティーチングの学習成果を確認する検証方法の研究

- ・ 子どもたちへのアンケート調査
- ・ 作品
- ・ 図書ポートフォリオ・読書感想文
- ・ 読書力

- * 生活科・総合的な学習の中で、子どもたちの「意志ある学び」の中で育ついろいろな力と、それを支える教科の基礎基本の力が両輪としてはたらき、学習することによって、真の学力がつくという仮説を検証していきたい。

学力等把握のための学校としての取り組み

プロジェクト学習&ポートフォリオ評価

「総合的な学習」はプロジェクト学習で進め、学習したことはアクションシートに書き込み、元ポートフォリオにファイルする。それを凝縮ポートフォリオとして残し、最後にポートフォリオ評価に繋げ、成果物（提言書・パンフレット等）を残す。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- (1) 全市的な授業研修会において授業の公開とともに学力向上の取り組みについて発表する。
- (2) 他校の研修会において本校教諭が講師として取り組みを発表する。
- (3) 参観日や他校とのPTA交流会において取り組みを発表する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下	7～12学級		
	13～18学級	19～24学級		
	25学級以上			
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	国語	社会	算数	理科
	生活	音楽	図画工作	家庭
	体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】			有	無